

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

第108回薬剤師国家試験の合格発表が行われました。今回の合格者数は9,602人（合格率69.0%）で、合格ラインは235点でした。この合格ラインが絶対基準の225点より10点も上がる結果となり、とても驚きました。

私は合格ライン232点、9,500人の合格者と予想していました。予備校によっては225点を超えないと見ていましたが、発表によって厚生労働省の相対基準への強い意思が伝わりました。前回の合格率が68.02%だったので、決して合格ラインを高くしたわけではなく、相対基準を優先した結果だと思います。

今回の試験の合格ラインが上がったのは、問題に奇問が少なく、回答を2つ選ぶ問題が減った一方、1つを選択する問題が多くなり、解答が導きやすかったことが原因だと分析します。正答率が60%を超える問題数は前回では228問ありましたが、今回では262問もありました（メディセレ自己採点システム調べ）。この結果がエビデンスだと思います。

出願者数は1万5,334人で、そのうち受験者は1万3,915人。単純計算すると1,419人が卒業留年になったと解釈でき、実際に卒業率が半分ほどの大学も出ています。また、新卒の合格率は84.86%ですが、既卒は44.05%であり、多くの学生が予備校に属しているものの既卒合格率の悪さは変わりません。ちなみにメディセレでの既卒合格率は83.3%でした。皆さんが頑張ってくれて嬉しいです!

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子